

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第29号

古牧だより通算123号

地域の皆さん 一人ひとりが主役です

積極的に参画し、行動し、提言してください

古牧地区住民自治協議会

会長 湯澤 角雄

先の総会において会長の大役を仰せつかりました。もとより非力ではありますが、副会長を始め役員の方々とともに、精一杯職務を果たしてまいりたいと存じますので、皆さんのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

当住民自治協議会も、昨年度本格的にスタートをして2年目を迎えました。幸いにも先輩の皆様方の熱心なご努力により、運営体制や基本方針等の主要部分は整備をしていただきましたので、今年度は、前年度に立案され、推進されている事業を原則として継続することとし、地域の皆さんのご意見等を背景に、協議・検討を加え、必要な修正を行いながら、より充実した内容にしてまいりたいと考えております。

さて、この度の東日本大震災等においても、地域コミュニティの重要性が認識されております。住民自治協議会の活動は、人と人との交流の場を広げ、地域の活性化・連帯感を生み出し、地域住民の絆になる大切な活動だと考えております。

「より安全・安心・住みよい古牧」を自分たちでつくるために、地域の皆さんが全員参加していただきますようお願いいたします。



平成23年度 古牧地区住民自治協議会企画調整委員および役員

会長	湯澤 角雄 (西尾張部)	区 長	半田 俊介 (JR宿舎)
副会長・総務部会長	矢澤 速久 (荒 屋)	区 長	青木 章 (平 林)
副会長・福祉部会長	小林 逸郎 (南高田)	区 長	矢澤 速久 (荒 屋)
副会長・安全環境部会長	松倉 富雄 (五分一)	事務局長・庶務部長	小布施文彦 (東和田)
副会長・公民館部会長	竹内 文義 (平 林)	事務局・会計部長	仁科 芳和 (西和田)
区 長・地区振興部長	宮島 俊文 (上高田)	広報部長	松本 壽昭 (上高田)
区 長	金子袈裟英 (北 条)	福祉健康部長	井澤 一幸 (北 条)
区 長	桐生 重俊 (中 村)	子育て支援部長	会津 淑子 (東和田)
区 長	小田切朋英 (川 端)	安全部長	荒井 英次 (平 林)
区 長	岩田 肇 (五分一)	環境美化部長	山岸喜久夫 (上高田)
区 長	蟻坂賢二郎 (南高田)	文化教養部長	日置 宣武 (南長池)
区 長	岡宮 忠和 (南長池)	体育部長	曾根原敬二 (中 村)
区 長	藤木 賢昭 (西尾張部)	健全育成部長	小林 英子 (川 端)
区 長	高野 忠男 (東和田)	人権・男女参画部長	久保田省三 (五分一)
区 長	上野 孝夫 (西和田)	支所長 (支援職員代表)	清水 一男 (西和田)

より安全・安心・住みやすい古牧を自分

23年度 各部の事業計画

人と人との絆・地域の絆・支

地区振興部

要援護者の避難支援計画を作成 「安全・安心・住みやすい古牧を」

地区振興部では、古牧地区の皆さんが、より安全で安心して住める古牧をめざして、災害時等の連絡体制の強化を実施していきます。

3月11日、東日本大震災等多くの災害が発生しているなかで、災害時の連絡体制のしっかりとしていた「まち」では、最小限の被害ですんでおります。

古牧地区も今、非常に高齢化がすすんでおり、人口は26,000名、65歳以上の高齢者は約4,800名と全体の18.5%を占め、高齢化がすすむことにより、年々要援護者が増えております。

地区振興部では、特に災害時等の要援護者支援事業について、各地区の対象となる要援護者を担当する民生児童委員の皆さんと個別に打ち合せを行い、個人情報の守秘及びプライバシーの保護に配慮しながら、要援護者宅を訪問し避難支援計画の作成を行っていきます。

福祉健康部

心豊かで健康で皆が幸せに 支えあいの街づくりを目指して

福祉健康部では、「古牧地区の皆さんが健康で生き生きと日々幸せに過ごせますように」を願いとしてこの一年間、各種の福祉事業を企画・実施していきます。

高齢化社会を迎え、地区住民の福祉充実に関係する要求の増大や福祉ニーズの多様性などを踏まえ、地区の皆さんの期待に応える福祉に取り組む為には福祉に携わる役員・委員が良く勉強し、自らの意識高揚を図ることが最も大切であると考えます。そのための各種研修会を企画実施していく計画です。そのための第一弾として、6月9日には約150名を動員して福祉大会を開催しました。

皆がふれあい気軽に楽しめる場の提供、健康づくりを目指す運動・講習会等の開催、支えあい助け合う、ふれあい事業の開催など多彩な事業を計画しています。

具体的には、地域たすけあい事業、健康維持増進事業、子育て事業、希望の旅事業や、各区の福祉事業推進のための支援事業（福祉情報の提供）などですが、適時にぶらネットこまき「福祉特集号」でお知らせしていきます。

多くの皆さんの事業参加を期待しています。

子育て支援部

子どもは宝・磨けば光る・地域の太陽、

がんばりすぎず、にこやかに！昨年はあっという間に、全区子育て支援が立ち上がりました。

各町ごとに知恵を結集し、一つ一つアイデアを出し合いながらのスタートでした。

今年も、それぞれの地域の特長をより一層出しながら、充実した活気あふれる活動を目ざします。

各区の子育て支援は、各区の子育て支援部員に問い合せください。

相談（一般・子育て）とにこにこ広場ご利用を！

場所 古牧児童センター
電話 026-259-5123
相談日 毎月の第1火曜日
支援日 毎月の毎週水曜日
時間 午前10:00~12:00
相談員 主任児童委員（3名）
支援者 主任児童委員ほか民生児童委員
※月1回 第2金曜日 古牧児童センター
支援者 更生保護女性会

お気軽にご利用をお待ちしております!!

安全部

第30回防火・防犯ポスター 記念フェスティバルを開催！

◎7/3（日）10:00~12:00 長野運輸支局にて

古牧地区防犯協会と、長野市消防団では、古牧地区の小・中学生に、防火・防犯ポスター募集事業を行っており、本年30周年を迎えるにあたり、記念特別企画として上記フェスティバルを盛大に開催します。当日は、はしご車・ポンプ車・後方支援車等の消防車両・バトカー・白バイ・爆弾処理車等の警察車両の展示・消火体験コーナー・紙芝居コーナー・警察犬コーナー・写生大会など、盛り沢山の内容で防火、防犯の意識を高めると共に、青少年の健全育成を図ることを目的に、企画しています。

◎防犯女性部

- (1) 青色灯自動車パトロール
 - (2) 護身術等の講習会の開催
 - (3) 振り込めサギの啓発活動
- など、地域の犯罪抑止の向上につとめる

◎防火・防犯ポスター募集事業の実施

◎夏期・年末の防犯夜間パトロール（各地区で）

◎道路白線引きの実施

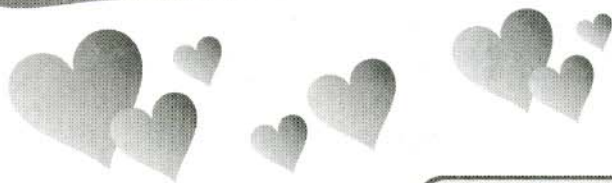
皆でつくる きれいなまち 古牧 「ポイ捨てはやめ

環境美化部は、きれいなまちづくりのため、長野市と連携し事業を推進しており、事業の多くが、区民の皆さんのご参加・ご協力の下、実施されています。事業は前年度と変わりませんが、相変わらず集積所に回収されないごみが残っていることから、ごみ出しルールについて、啓発・指導を行ってまいり、資源回収を促進し、各区の活動及びごみ集積所の設置等費用に対して補助金を交付します。

さて、本年4月1日「長野市ポイ捨て等を防止し、ごみのないきれいなまちをつくる条例」が施行されました。条例では、ごみ・たばこの吸殻を捨てる例・ルールを守ることが、きれいなまちづくりに繋がります。また、環境問題には、二酸化炭素等の排出量削減や節電等があり、どうかご協力をお願いします。

かたちでつくるう!!

ふれあいを大切に



文化教養部

観覧者の減少傾向に歯止め!! 「第28回ふるさと文化芸能祭を開催」

文化教養部は今年も役員研修会とふるさと文化芸能祭をメインとした活動をしていきます。

ふるさと文化芸能祭は本年度28回目を迎えますが、展示部門ではぶらネットこまきの趣味シリーズにもありますが、地区の皆さんよりたくさんのお品があります。芸能部門では昨年21演目ありましたが第1部の小中学生の演奏、合唱が終わった頃より大抽選会がありますが、観覧者が減少傾向にあります。昨年来の課題もありますが、地区の皆さんに喜んでいただき、大勢の御参加を頂けるように工夫しながら活動します。

役員研修会は、テーマとしては地域公民館活動の進むべき方向また、活動のあり方を中心に据えて、役員の皆様の方になるよう助言をいただく講演と、各区活動状況の報告で他地区を参考にする取り組みをします。

体育部

スポーツで交流!!

〔公民館対抗球技大会〕

卓球 全地区から参加を 各種目 多数の区民の応援を

公民館対抗球技大会は今年で28回目を迎えます。地区の名譽をかけて、暑い夏の1日に熱い思いをかけて、選手は頑張ります。野球・バレーボールは全区から参加がありますが、卓球だけ、不参加地区が増えてきています。今年は何としても、全区から参加できるようにします。

昨年は全体で500余名の応援でした。応援団の組織化で盛り上げ、選手だけでなく、区民みんなの球技大会にしたいものです。

〔ふるさとふれあい教室〕

「ふるさと」をウォーク

第24回ふるさとふれあい教室は、昨年ゲーム等取り入れて好評でした。「ふるさと」の意味を重く考えて、一層内容の充実を図ります。

環境美化部

めよう!!

ます。(大掃除、ゴミゼロ運動、河川清掃、アメリシロ防除等)ります。また、資源の有効利用を図るため、古紙・缶・ビン等

ることや、飼い犬の糞の放置を禁止しています。皆さんの条いたします。



健全育成部

子ども会活動10周年を迎える

健全育成部としては2年目ですが、前組織の古牧地区子ども会育成連絡協議会から継続している古牧地区子ども会活動が、今年10周年を迎える記念の年となります。先日5月28日に行われた第10回古牧地区子ども会総会では、子ども会を発足させた現古牧ドッジボールクラブ監督の伊藤一之さんに記念講演をして頂きました。その中で、子ども達が自分達で作上げる子ども会を、10年間継続されていることをうれしく思うと感想も話して頂きました。講演を聞き、役員一同「子ども達が自主的に進める活動を目指す」意識が高まりました。

今後予定している、中学生球技大会・少年少女球技大会・ふるさとふれあい教室のレクリエーション企画・子ども会活動発表会を、子ども達が主体的に考え進められるように支援していきたいと考えております。

人権・男女参画部

会場を替えて2年目の 「人権を考える集い」 緑ヶ丘小学校で

去る3月11日の東北地方太平洋沖地震の被害状況等から明らかになったのは、懸念されていたように社会的弱者ほど被害犠牲にあらう率が高いという事実でした。

一瞬のうちに波に飲み込まれ亡くなられた人々や家族や職場を奪われた人々の思いに、どれだけ寄り添えるのか。

長年、人権同和問題の解決に取り組んで私たちの力量が問われています。

当部の年間事業の三大柱を中心に、今年も取り組みます。

1. 学校と地域で人権を考える集い
6月29日 会場 緑ヶ丘小学校
2. 男女共同参画セミナー
11月18日 会場 古牧公民館
3. 13地区町別人権同和教育研修会
10月から1月を予定

広報部

13人の通信員の設置・メールください 「みんなのぶらネットこまき」です

- 1 13人の通信員の設置で、HPをより一層充実させます。
- 2 地域の欄は、古牧地区内の地域交流の場、古牧文化の創造の場、「絆」をはぐむ情報の発信の場です。観てください。
- 3 古牧地区住民自治協議会のHPアドレスは「<http://www4.ocn.ne.jp/~komakij/>」ですが、「古牧地区住民自治協議会」と漢字で入力しても観れます。
- 4 古牧住民自治協議会の活動の計画・活動内容、その結果についてHP上で、写真と文で掲載します。
- 5 「ぶらネットこまき」は2ヶ月に1回発行します。(年6回)また福祉、人権・男女参画の特集号を6回発行します。
- 6 古牧住民自治協議会への要望・意見などHPトップのメールで、どしどしお願いします。

23年度 予算額 30,085,435 円

20年以上続く輪読会

— 平林安達会の活動 —

会長 滝澤 忠 男

私たち平林の老人会は、氏神様の安達神社から「平林安達会」の名称をつけています。

現在61名の会員で活動しています。すでに4月に総会、花見の会、第1回資源回収を実施し、5月には、役員会、ならびに誕生会を実施しています。

また、平林では、グランド・ゴルフを毎週3回、その他ゲート・ボール、マレット・ゴルフ、ペタンク等も三三五五集まっています。

特にグランド・ゴルフは、毎月の例会では約30名の会員が集まって、技を磨き成績を競い、ふれあいを進めています。

さらに、グランド・ゴルフの大会では、古牧市の大会等で上位成績を収める会員も増えていきます。このスポーツ交流は、一人ひとりの人生を豊かにし、健康増進に役立ち、会話と笑顔のもとになっています。

私たちは、平林が自分たちにとって、住んでよかった、住み続けたい地域にしたいと願っています。

今後6月のバラ観賞会、研修温泉旅行、7月には恒例の育成会との三世代交流に心弾ませています。

「絆」が問われる。
(松本 壽昭)

「絆」が問われる。
(松本 壽昭)



今年の住民自治協議会のキーワードは「絆」？ 未曾有の東日本震災で、皮肉なことに「絆」が脚光を浴びる。生存するぎりぎりの限界点で、被災者集団の「絆」によって、生存することができた。また絶望から生きる希望、勇気、目標を持つことができた。コミュニケーションが存続できた。まさに「絆」は住民自治の原点か？

「絆」

しかし、「絆」は「断つに忍びない恩愛、離れがたい情実」（広辞苑）といわれる。

古牧地区住民自治協議会も本格的に活動をはじめ、二年目、従来の活動に甘んじては「絆」は生まれない。「絆」がはぐくまれる活動が肝要だ。今年度は、

ます。

その他社会奉仕活動では年6回の資源回収、花づくりで潤いのある町づくりの活動をしています。文化・芸能面では、20年以上読書会で「百歳万歳」の輪読会を継続しています。大正琴の会では日ごろの成果を敬老会・新年会でご披露、園芸・将棋の会も、古牧で優れた成績を収め区民の関心も高いです。

「継続は力なり」一層安達会の活動の充実を図っていきます。



交通死亡事故多発非常事態宣言発令

4/20長野県交通安全運動推進本部長（県知事）から非常事態宣言が発令されました。特に夜間、歩行者・自転車・高齢者の死亡事故が多発しています。古牧地区内においても今年2月に死亡事故が発生しています。交通安全は自分自身が主役です。一人ひとりが交通ルールを守り、地域近隣で声をかけあい、交通事故抑止に努めましょう。

古牧地区の世帯数と人口

23年5月1日現在

10,486 世帯

26,027 人

(男 12,838人 女 13,189人)

◆平成23年度 広報部部員(編集委員)名簿◆

部 長	松本 壽昭 (広報部)
副部長	宇都宮英子 (子育て支援部)
部 員	上野 孝夫 (地区振興部) 井原 寿行 (福祉健康部)
	宮澤 利雄 (安全部) 望月 喬 (環境美化部)
	金澤 正義 (文化教養部) 白木 康弘 (体育部)
	森田 和子 (健全育成部)
	丸山 正一 (人権・男女参画部)
	夏目 英俊 (支所)

■発行所	古牧地区住民自治協議会
■発行者	湯澤 角雄
■編 集	ふらネットこまき編集委員会
■印 刷	有限小池印刷